

市が不許可・滝畑産廃処分場

7月25日、市は山口地区滝畑に計画されている産廃処分場について、計画事業者の（株）フォーシーズン・ファクトリーに不許可の通知を出しました。利害関係者や地元住民の同意が得られていないことが不許可の理由です。市が「建設不許可」を明らかにしたことには、地元住民と山口地区連合自治会などの運動の成果

演劇鑑賞会・8月例会

生まるために
必事なモノは

8月23日（金）14時から市民会館小ホールで劇団「公演」アルジャーノンに花束を」を見ました。知的障害者のチャールズがハツカネズミのアルジャーノンに植えられた動物実験で実証された手術を受け天才的な知

者の動きに注目しながらの取り組みを継続することの文書が届きました。事業者の動きに注目です。

能を持つと同時に、これまで知らなかった家族や職場の関係が明らかになります。「人が生きるとは何かが。人にとって何が幸福なのか」と問いかけらるような気持ちになりました。

日本共産党

全国すべての自治体で実施している子どもの医療費助成制度の拡充が年々進んでいます。厚生労働省の2018年度調査で、高校卒業まで助成し

ている市区町村は、通院と入院ともに全体の3割を突破。「中学校卒業まで」と合わせると、通院も入院も約9割に達します。

自治体の努力の一方で、国には助成制度がないばかりか、小学生以上の「窓口無料化」を行う自治体には国民健康保険への国庫負担減額という罰則措置を続け

ています。全国知事会や全国市長会は、国が全国一律の子ども医療費助成制度をつくるよう提議。

日本共産党も国の制度創設を訴え、国が小学校卒業まで所得制限なしで無料化するのを土台として、自治体独自の助成をさらに前進させることを提議しています。

潮流

「あちらでは、別の一人がもはや帰りの旅費しか持っていない。水なくなったり、他

の連中が家族の大きな財産をまるまる勝負でなくしてしまったりする」▼あのマルクスは亡くなる前の年、モナコに滞在してカジノの様子を娘に伝えていました。「分別や打算などはここで

はまったく問題になりえない。ただいくばくかの確率の推理をもって、偶然の恵みを受けている者ばかりはないのだ」▼賭博のため

り込む人たちの目の当たりにし、それを都市が経済的な基礎としていることにも批判の目を向けたマルクス

彼の「資本論」にながら「経済学批判」を世に出した1859年、日本では安政の開国によって五つの港が開かれました▼そのひとつが横浜です。金港とも呼ばれ、首都の玄関口

として160年の時を刻みながら大きく発展してきた。その港を代表する山下の頭に、横浜の林文子市長がカジノを誘致すると表明しました▼2年前の市長選から「白紙」と、自身の態度も争点もぼかし続けたから突然の明言会見。これには「ここは水もれ港灣人の聖地。博打場にはない」と事業者らが強く反対し、「市民の憩いの場にか

ジノはいらない」と多くの市民が声を上げるのも当然でしよう▼マルクスという「盗賊の巢窟」を歓迎するのは、海外のカジノ企業や経済界、ゴリ押しするアベ政権ばかりです。市民不在の長の独断はもう一人の不幸や周りを泣かせて成り立つ街や社会に、健全な経済活動も人間らしい営みもありません。

赤旗
日刊 3400円/月
300円/年